

全国飲食店開業ランキング レポート ver8

～2025年10月～12月・年間・過去3年間比較～

<調査方法>

行政からの開業情報をもとに、
Review独自のクレンジングをおこなったデータより算出

Contents

株式会社Reviewは「人」と「IT」のチカラを組み合わせ、全国の店舗データおよび法人データを独自で、収集・整備・提供しているデータプロバイダーです。

日々データを更新、圧倒的な網羅性とリアルタイム性がございます。
そんな弊社ならではの、全国の飲食店に関する調査結果を発表いたします。

全国飲食店開業ランキング 2025年10月～12月

飲食店開業全国TOP5/2025年10月～12月	…P4
全国飲食店開業ランキング	…P5
全国飲食店開業ランキング/2023年～2025年	…P6
地域ごとの動きに差が広がる第4四半期	…P7

全国飲食店ジャンル別開業ランキング 2025年10月～12月・年間

飲食店ジャンル別開業ランキング	…P9
【年間】飲食店ジャンル別開業ランキング	…P10
ジャンル別に異なる開業タイミング	…P11～14

全国飲食店開業ランキング/月別比較

【四半期別比較・年間】都道府県別 飲食店開業数	…P16
地域ごとに異なる開業ピーク時期	…P17
開業ピーク月から見る地域特性	…P18

全国飲食店開業レポート ver8 まとめ

市場は安定局面へ ― 問われる「開業戦略」	…P20
変化を捉えることが、新たな事業機会につながる	…P21

全国飲食店開業ランキング 2025年10月～12月



飲食店開業全国TOP5/2025年10月～12月



2025年10～12月期の全国飲食店開業動向では、開業数は前年をやや下回ったものの、過去3年間ではおおむね同水準を維持し、市場全体は安定した推移となりました。

また、年間を通じた分析では、地域ごとに開業が活発になる時期や、ジャンルごとの需要サイクルにも違いが見られています。

本レポートでは、2025年10～12月および年間の全国飲食店開業データをもとに、地域別・月別・ジャンル別の動向を多角的に分析し、現在の市場変化を読み解いていきます。

2025年10月～12月の全国飲食店開業数ランキングを発表いたします。
トップ5には、以下の都道府県がランクインしています。



1位
東京都

1位 東京都(2,186件)

国内最大の市場規模を背景に、多様な業態の出店が続く。訪日客需要の拡大も追い風となる一方、物件や人材の確保が課題となり、出店戦略の工夫が求められる。



2位
大阪府

2位 大阪府(1,276件)

国内外から多くの来街者が訪れる商業都市として、高い開業数を維持。観光需要の回復を背景に、繁華街を中心とした新規出店が活発に見られる。



3位
北海道

3位 北海道(1,117件)

札幌市を中心とした都市部に加え、観光地周辺でも開業が進む。国内外からの旅行需要を取り込みながら、多様な業態の出店が広がる。



4位
愛知県

4位 愛知県(1,037件)

名古屋市を中心とする安定した商圏を背景に、幅広いジャンルで開業が継続。地域住民の日常利用に加え、駅周辺エリアでの出店も堅調に推移している。



5位
神奈川県

5位 神奈川県(800件)

横浜市や川崎市など人口集積地を中心に、安定した開業数を維持している。住宅地と商業地の双方で需要が見込めることから、多様な立地で出店が進行中。

全国飲食店開業ランキング

2025年10月～12月の、全国の飲食店開業数ランキングは以下のような結果となりました。

2025年10月～12月 全国開業件数 15,512件

	合計	2025年10月	2025年11月	2025年12月
都道府県	開業数	開業数	開業数	開業数
ALL	15512	5113	5286	5113
1 東京都	2186	749	705	732
2 大阪府	1276	449	397	430
3 北海道	1117	386	437	294
4 愛知県	1037	360	325	352
5 神奈川県	800	311	253	236
6 福岡県	763	276	252	235
7 兵庫県	671	227	221	223
8 千葉県	624	219	196	209
9 沖縄県	443	154	130	159
10 埼玉県	437	150	134	153
11 京都府	394	128	136	130
12 静岡県	387	117	137	133
13 茨城県	356	142	122	92
14 熊本県	332	93	172	67
15 宮城県	309	139	93	77
16 広島県	282	100	88	94
17 長野県	249	113	63	73
18 新潟県	245	94	85	66
19 鹿児島県	241	56	127	58
20 岡山県	229	65	79	85
21 岐阜県	207	56	88	63
22 三重県	200	72	55	73
23 栃木県	198	72	58	68
24 石川県	186	68	50	68
25 山口県	182	54	78	50
26 宮崎県	174	59	50	65
27 群馬県	169	58	52	59
28 福島県	167	56	49	62
29 岩手県	162	56	54	52
30 香川県	149	35	36	78
31 大分県	142	43	47	52
32 青森県	140	45	50	45
33 長崎県	136	48	39	49
34 奈良県	131	56	38	37
35 愛媛県	130	53	35	42
36 滋賀県	118	37	47	34
37 山梨県	115	47	41	27
38 富山県	114	43	32	39
39 和歌山県	114	44	43	27
40 高知県	107	34	24	49
41 徳島県	93	38	24	31
42 佐賀県	92	24	37	31
43 山形県	82	31	33	18
44 島根県	80	25	17	38
45 福井県	69	28	22	19
46 秋田県	61	16	20	25
47 鳥取県	54	25	15	14

全国飲食店開業ランキング/2023年～2025年

次に、2023年～2025年の3年間における、10月～12月の全国の飲食店開業数を比較してみました。以下のような結果となりました。

※ランキングの順位は2025年にに基づきます。

飲食 / 10月～12月開業数									
	都道府県	2023年	2024年	2025年					
	ALL	15617	15864	15512	24	石川県	146	157	186
1	東京都	2533	2175	2186	25	山口県	146	131	182
2	大阪府	1355	1267	1276	26	宮崎県	172	150	174
3	北海道	798	940	1117	27	群馬県	168	174	169
4	愛知県	897	1076	1037	28	福島県	191	163	167
5	神奈川県	740	774	800	29	岩手県	145	138	162
6	福岡県	826	906	763	30	香川県	127	125	149
7	兵庫県	721	728	671	31	大分県	127	160	142
8	千葉県	602	543	624	32	青森県	105	134	140
9	沖縄県	465	459	443	33	長崎県	151	155	136
10	埼玉県	519	438	437	34	奈良県	68	131	131
11	京都府	404	383	394	35	愛媛県	149	135	130
12	静岡県	381	394	387	36	滋賀県	130	116	118
13	茨城県	280	277	356	37	山梨県	63	111	115
14	熊本県	257	217	332	38	富山県	137	103	114
15	宮城県	267	236	309	39	和歌山県	111	112	114
16	広島県	278	308	282	40	高知県	95	93	107
17	長野県	160	185	249	41	徳島県	91	59	93
18	新潟県	188	209	245	42	佐賀県	98	98	92
19	鹿児島県	233	295	241	43	山形県	88	92	82
20	岡山県	212	182	229	44	島根県	62	90	80
21	岐阜県	218	230	207	45	福井県	84	76	69
22	三重県	258	187	200	46	秋田県	62	58	61
23	栃木県	256	229	198	47	鳥取県	53	57	54

過去3年間の10～12月期における飲食店開業数は、2024年にピークを迎えた後、2025年はやや減少し、全体としては横ばい圏で推移しました。

ランキング上位では東京都と大阪府が引き続き高い開業数を維持する一方、北海道は3年連続で開業数を伸ばし、主要都市圏の中でも存在感を高めています。また、茨城県や熊本県、宮城県などでは前年を上回る伸びが見られ、地方エリアでも開業が増加する動きが確認されました。

一方で、月別では北海道や熊本県など一部地域で開業数の変動が大きく、地域ごとに開業時期の違いが見られる四半期となりました。

地域ごとの動きに差が広がる第4四半期

2025年第4四半期(10～12月)の飲食店開業数は15,512件となり、前年をやや下回る結果となりました。一方で、全国の開業規模は過去3年間で大きな変化は見られず、市場全体は一定の水準を維持しています。その一方で、都道府県ごとの開業動向を見ると、前年から大きく増加した地域と減少した地域が混在し、開業エリアや開業時期の違いがこれまで以上に鮮明となりました。

ここでは、第4四半期の特徴を地域別・月別の両面から見ていきます。

3年連続で開業数を伸ばした北海道 地方エリアでも高まる存在感

ランキング上位は東京都、大阪府、愛知県など大都市圏が引き続き占めており、全国の開業を牽引する構図に大きな変化はありません。一方で、北海道は798件(2023年)、940件(2024年)、1,117件(2025年)と3年連続で開業数を伸ばし、第3位を維持しながら存在感を高めています。

また、茨城県や熊本県、宮城県、新潟県など前年を上回る伸びを示した地域も見られました。主要都市への開業集中は続いているものの、一部の地方エリアでも開業が活発化しており、地域ごとの動きに変化が見られる結果となりました。

全国の開業数は横ばい しかし地域ごとの増減はより鮮明に

全国の開業数は2023年から2025年まで15,000件台で推移しており、市場全体としては大きな増減は見られません。しかし、都道府県別に見ると地域ごとの差は拡大しています。

前年と比較すると、北海道や熊本県、千葉県、茨城県では開業数が大きく増加した一方、福岡県や兵庫県、鹿児島県、愛知県では減少しました。全国的な開業数は横ばいでも、その内訳を見ると地域によって増減の幅が大きく異なっており、**全国一律ではない開業動向がより明確**になっています。

開業時期にも地域差 全国的には11月が開業最多

月別の開業数では、全国では11月が5,286件と最も多くなりました。ただし、この傾向はすべての地域に共通するものではありません。

東京都や愛知県は3か月を通じて大きな変動がなく安定して推移した一方、北海道は11月に437件まで増加した後、12月は294件まで減少しました。また、熊本県や鹿児島県でも11月に開業数が大きく伸びるなど、**地域によって開業が集中するタイミングの違い**が見られます。

第4四半期全体では一定の開業数が維持されたものの、その動きを詳しく見ると、エリアごとの市場特性がより表れた四半期となりました。



全国飲食店ジャンル別開業ランキング 2025年10月～12月・年間

飲食店ジャンル別開業ランキング

2025年10月から12月に開業した飲食店(全国15,512件)をジャンル別に分析した結果、次のような結果となりました。

飲食 / 2025年10月～12月		
	ジャンル	開業数
	ALL	15512
1	飲み屋・居酒屋	1093
2	バー	1043
3	カフェ・喫茶店	944
4	ラーメン	573
5	各国料理	487
6	専門料理店	453
7	お菓子・スイーツ	431
8	一般レストラン	412
9	焼肉	320
10	中華料理	297
11	和食・郷土料理	295
12	ファーストフード	258
13	キャバレー・ナイトクラブ・ラウンジ	256
14	寿司店	199
15	焼き鳥	157
16	カレー店	150
17	肉調理店(焼肉・焼鳥・ステーキ除く)	143
18	お好み焼き・たこ焼き・焼きそば等	121
19	麺類(そば)	107
20	丼・定食	104
21	麺類(うどん)	93
22	鍋料理	63
23	ステーキ	45
24	分類できない飲食店	13
25	持ち帰り飲食サービス業	3
26	配達飲食サービス業	1
27	料亭	0
	その他飲食店	7889

【ジャンル分類について注釈】

Review飲食店データでは、総務省が定める「日本標準産業分類」に基づいて業種分類を行っています。同分類においては、「中華料理」と「各国料理」はそれぞれ別の分類として定義されています。

【年間】飲食店ジャンル別開業ランキング

次に、2025年に開業した飲食店(全国58,330件)をジャンル別ランキングにしてみました。
結果は下記の通りです。

飲食 / 2025年 年間		
	ジャンル	開業数
	ALL	58330
1	飲み屋・居酒屋	4422
2	カフェ・喫茶店	4251
3	バー	3504
4	ラーメン	2060
5	各国料理	1854
6	お菓子・スイーツ	1839
7	専門料理店	1690
8	一般レストラン	1416
9	和食・郷土料理	1159
10	焼肉	1143
11	中華料理	1036
12	キャバレー・ナイトクラブ・ラウンジ	914
13	焼き鳥	653
14	寿司店	639
15	ファーストフード	610
16	カレー店	605
17	肉調理店(焼肉・焼鳥・ステーキ除く)	487
18	お好み焼き・たこ焼き・焼きそば等	426
19	麺類(そば)	420
20	丼・定食	406
21	麺類(うどん)	387
22	鍋料理	210
23	ステーキ	138
24	分類できない飲食店	53
25	料亭	1
	その他飲食店	28441

ジャンル別に異なる開業タイミング

「夏型」「春～初夏型」「年後半型」「二山型」から読み解く出店動向

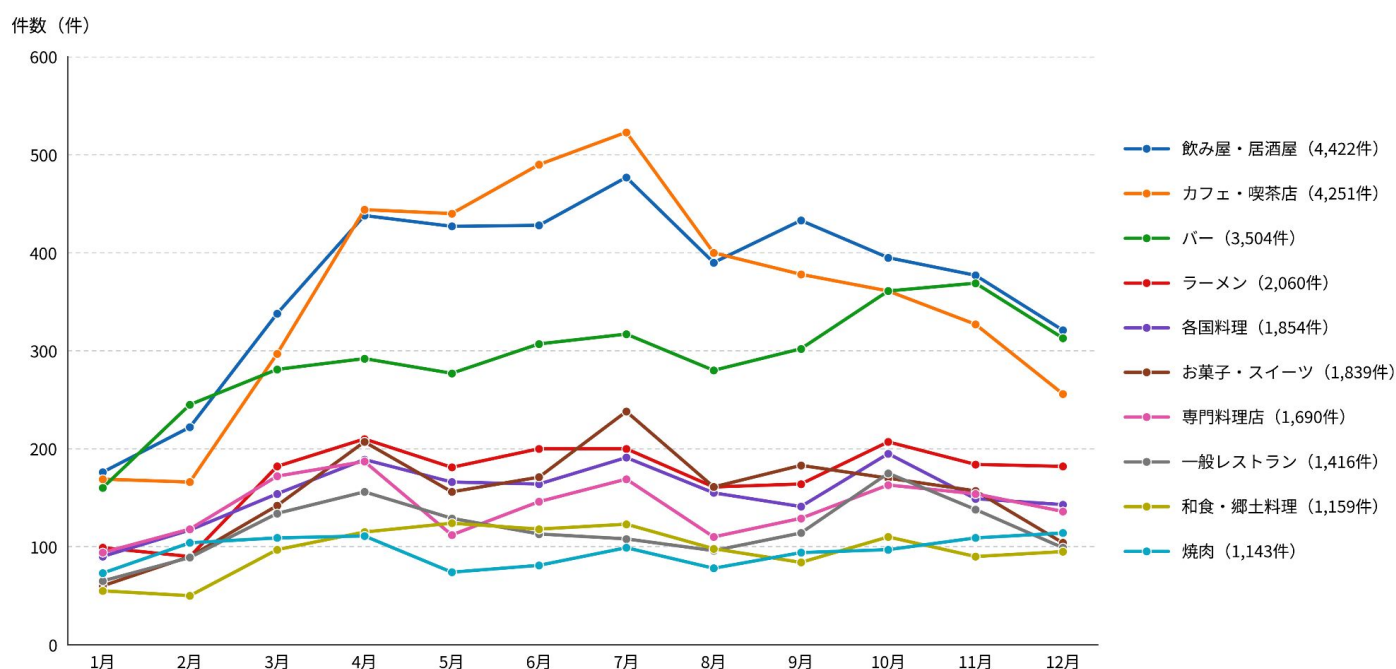
下記のグラフは、年間開業数の上位10ジャンルにおける、月別の開業数の推移を表したものです。

2025年の飲食店開業動向をジャンル別に見ると、開業が特定の月に一極集中する傾向は見られませんでした。一方で、ジャンルごとに開業が増える時期には明確な違いがあり、大きく「夏型」「春～初夏型」「年後半型」「二山型」の4つのパターンに分類できます。

こうした違いの背景には、花見や大型連休、夏休み、年末商戦といった季節イベントに加え、2025年はインバウンド需要の拡大、記録的な猛暑、物価高による消費行動の変化、人手不足への対応など、複数の外部環境が重なったことが影響したと考えられます。

以下では、各パターンの特徴と背景を整理します。

【2025年 ジャンル別】開業数の推移(上位10ジャンル)



ジャンル別に異なる開業タイミング

■ 夏型 — 夏需要を見据えて開業が集中する業態

対象ジャンル：飲み屋・居酒屋、カフェ・喫茶店、お菓子・スイーツ

夏型のジャンルでは、いずれも7月に年間最多の開業件数を記録しました。

特にカフェ・喫茶店は6月から7月にかけて大きく伸び、7月をピークにその後は年末へ向けて減少します。飲み屋・居酒屋も4月以降高水準を維持しながら、7月に最も多く開業しています。

カフェやスイーツ業態は、商業施設や観光地での休憩需要との親和性が高く、夏の人流増加の恩恵を受けやすい業態です。実際に7月は訪日外国人数も過去最高水準となっており、国内外双方の人流拡大が開業判断を後押しした可能性があります。

一方、開業には物件契約や内装工事など数か月の準備期間を要することを考えると、夏型業態は「夏需要を狙って逆算して開業時期を設定している」ことも考えられます。

実需が最も高まるタイミングに合わせて営業を開始する、比較的分かりやすい出店戦略が反映された結果ともいえるでしょう。

■ 春～初夏型 — 新生活・大型連休需要を取り込む業態

対象ジャンル：和食・郷土料理、専門料理店

春から初夏にピークを迎えるジャンルでは、4～5月に開業が集中しています。

専門料理店は4月、和食・郷土料理は5月が年間最多となりました。

3～5月は歓送迎会や花見、大型連休など外食機会が連続する時期です。また、新年度のスタートに伴い、人の移動や生活環境の変化によって外食需要そのものが高まりやすくなります。

さらに2025年4月は訪日外国人数が単月過去最高を更新しており、観光需要も重なりました。和食・郷土料理は旅行先での食体験との親和性が高く、専門料理店も「少し特別な食事」を求める需要を取り込みやすい業態です。

春の需要は一過性ではあるものの、新生活や旅行需要など複数の要因が重なることで、新規開業に適したタイミングになっていると考えられます。

ジャンル別に異なる開業タイミング

■ 年後半型 — 秋から年末商戦を見据えて開業する業態

対象ジャンル：一般レストラン、バー、焼肉

年後半型では、10～12月にかけて開業数が増加します。

一般レストランは10月、バーは11月、焼肉は12月がそれぞれ年間ピークとなりました。

この背景には、秋の観光シーズンから年末需要まで外食需要が連続することがあります。2025年は10月・11月・12月とも訪日外国人数が過去最高水準となり、秋の行楽シーズンとインバウンド需要が重なりました。

特にバーは、カフェとは対照的な動きを示しています。カフェが7月をピークに減少する一方、バーは10月以降も開業が増え続け、11月に年間最多を記録しました。

これは業態特性の違いによるものと考えられます。バーは夜間利用が中心であり、猛暑の夏よりも、気候が落ち着いて夜間外出が増える秋以降の方が需要との相性が良くなります。また、忘年会シーズン直前に開業することで、年末需要を取り込みやすいという経営判断も背景にあると考えられます。

焼肉も同様に、家族やグループでの会食需要が高まる年末に向けて開業が増える傾向が見られました。

年後半型の業態は、「夏のピークを狙う」のではなく、「秋から年末まで続く需要期」を見据えた出店戦略が特徴といえます。



ジャンル別に異なる開業タイミング

■ 二山型 — 複数の需要期を持つ安定型業態

対象ジャンル：ラーメン、各国料理

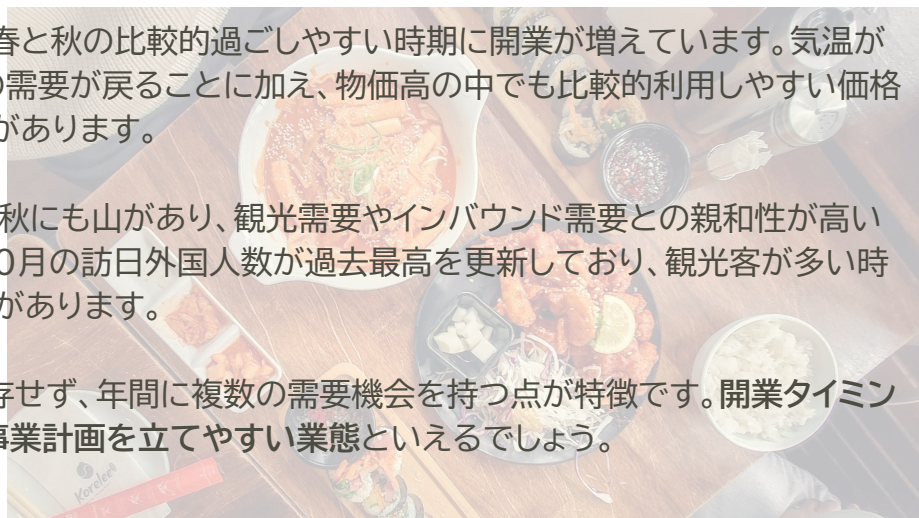
二山型は、年間を通じて二度の開業ピークを持つ点が特徴です。

ラーメンは4月と10月、各国料理は7月と10月に大きな山を形成しています。

ラーメンは、真夏や真冬ではなく、春と秋の比較的過ごしやすい時期に開業が増えています。気温が落ち着くことで温かいメニューへの需要が戻ることに加え、物価高の中でも比較的利用しやすい価格帯であることが支持された可能性があります。

一方、各国料理は春から夏、さらに秋にも山があり、観光需要やインバウンド需要との親和性が高いことがうかがえます。2025年は10月の訪日外国人数が過去最高を更新しており、観光客が多い時期に合わせた出店が増えた可能性があります。

二山型は、一つの繁忙期だけに依存せず、年間に複数の需要機会を持つ点が特徴です。開業タイミングの選択肢が広く、年間を通じた事業計画を立てやすい業態といえるでしょう。



ジャンルごとの季節性は、出店戦略の違いを映し出している

今回の分析からは、飲食店全体として開業が集中する「共通のピーク月」があるわけではなく、**ジャンルごとに狙う需要期が異なることが明確**になりました。

夏の需要を見据えるカフェや居酒屋、春の人流増加を狙う和食・専門料理店、秋から年末商戦を重視するバーや焼肉、そして複数の需要期を活用するラーメンや各国料理。それぞれの業態が、自らの顧客層や利用シーンに合わせて最適な開業タイミングを選択していることがうかがえます。

2025年は、インバウンドの回復、記録的な猛暑、物価高、人手不足といった外部環境が同時に進行した一年でもありました。こうした環境変化は、単に「いつ開業するか」だけでなく、「どの需要期を狙う業態を選ぶか」という出店戦略にも影響を与えています。

今後、飲食店の開業動向を読み解く際には、年間の開業件数だけでなく、ジャンルごとの季節性や需要サイクルの違いにも着目することで、市場の変化をより立体的に捉えることができるでしょう。

全国飲食店開業ランキング/年間比較



【四半期別比較・年間】都道府県別 飲食店開業数

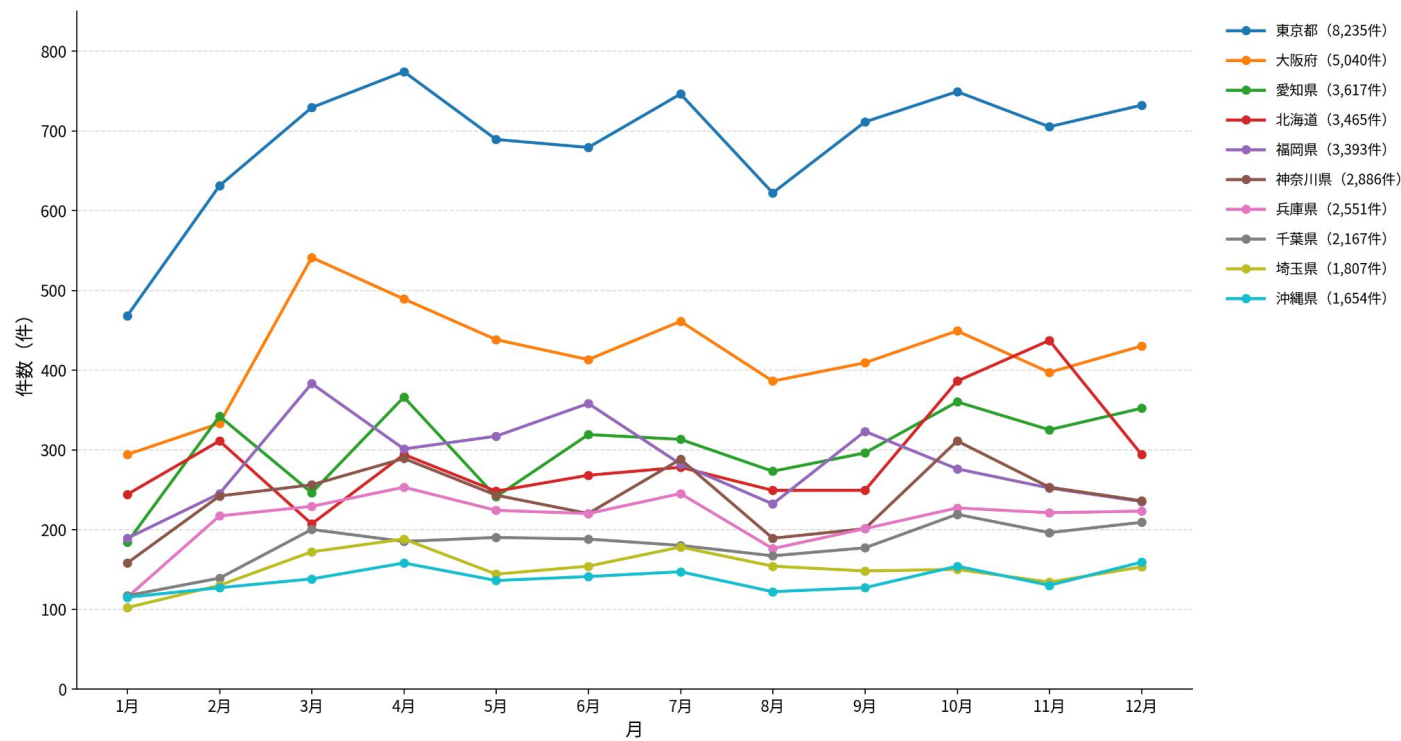
次に、2025年の四半期別開業データを比較してみましょう。

		合計	第1四半期 (1月～3月)	第2四半期 (4月～6月)	第3四半期 (7月～9月)	第4四半期 (10月～12月)
	都道府県	開業数	開業数	開業数	開業数	開業数
	ALL	58330	13256	15248	14314	15512
1	東京都	8235	1828	2142	2079	2186
2	大阪府	5040	1168	1340	1256	1276
3	愛知県	3617	772	926	882	1037
4	北海道	3465	762	810	776	1117
5	福岡県	3393	817	976	837	763
6	神奈川県	2886	656	752	678	800
7	兵庫県	2551	561	697	622	671
8	千葉県	2167	456	563	524	624
9	埼玉県	1807	404	486	480	437
10	沖縄県	1654	380	435	396	443
11	京都府	1617	471	362	390	394
12	静岡県	1474	374	395	318	387
13	広島県	1201	357	305	257	282
14	茨城県	1155	215	291	293	356
15	宮城県	1067	235	280	243	309
16	熊本県	1020	204	227	257	332
17	鹿児島県	1002	249	248	264	241
18	栃木県	878	186	282	212	198
19	岡山県	855	215	203	208	229
20	新潟県	773	133	187	208	245
21	三重県	720	156	181	183	200
22	岐阜県	719	163	185	164	207
23	長野県	629	99	136	145	249
24	福島県	627	169	156	135	167
25	宮崎県	626	147	152	153	174
26	岩手県	615	105	169	179	162
27	山口県	610	143	118	167	182
28	石川県	608	132	158	132	186
29	群馬県	590	105	159	157	169
30	香川県	558	120	127	162	149
31	青森県	545	110	162	133	140
32	長崎県	538	103	160	139	136
33	愛媛県	530	121	153	126	130
34	奈良県	507	125	137	114	131
35	大分県	496	103	126	125	142
36	和歌山県	465	101	139	111	114
37	滋賀県	459	104	113	124	118
38	高知県	384	83	101	93	107
39	山梨県	383	82	96	90	115
40	富山県	361	67	106	74	114
41	佐賀県	349	95	94	68	92
42	徳島県	330	73	82	82	93
43	山形県	286	72	62	70	82
44	福井県	275	66	76	64	69
45	秋田県	264	63	79	61	61
46	島根県	236	55	62	39	80
47	鳥取県	201	51	52	44	54

※合計の開業数が多い都道府県順に表示しております。

地域ごとに異なる開業ピーク時期

2025年 都道府県別 開業数の推移（年間TOP10）



上記のグラフは、年間開業数トップ10の都道府県の月別開業数の推移を示したものです。2025年の飲食店開業数は、年間全体では4月が最多となりましたが、都道府県別に見るとピーク月は一様ではありません。ここでは、それぞれの開業ピークの特徴を見ていきます。

タイプ	特徴	代表的な都道府県	主な背景(考察)
春型 (3～4月ピーク)	新年度・大型連休前に開業が集中	大阪府、福岡県、愛知県	新生活需要や新年度商戦を見据えた出店が多い。人口流入が多い都市圏で見られる傾向。
夏型	夏休み・観光シーズン前後に開業	※2025年は顕著な例が少ない	夏季需要を取り込む観光地・沿岸部で見られやすいが、2025年は春・秋への分散が目立った。
秋型 (10～11月ピーク)	秋の観光・年末需要を見据えて開業	北海道、神奈川県、千葉県	インバウンドや秋の観光需要、年末商戦を意識した開業。2025年は特に北海道で11月が突出。
通年安定型	年間を通じて大きな変動が少ない	東京都、沖縄県	人口・観光需要が年間を通して安定しており、特定の季節への依存度が低い。

開業ピーク月から見る地域特性

年間開業数TOP10の都道府県について開業ピーク月を見ると、「春型」「秋型」「通年安定型」を中心に地域ごとの違いが見られました。こうした傾向には、新年度や観光需要、都市開発など、地域ごとの事業環境が影響している可能性があります。

地域ごとに異なる開業タイミング

春型 | 3～4月に開業が集中

大阪府、福岡県、愛知県では、3～4月に開業が集中する「春型」の傾向が見られました。新年度による人の動きや需要の高まりに加え、大阪・関西万博や空港機能の拡充など、今後の人流増加への期待も開業時期の判断に影響した可能性があります。

秋型 | 10～11月にピーク

北海道、神奈川県、千葉県では、10～11月にピークを迎える「秋型」の傾向が見られました。訪日客の増加や紅葉シーズン、空港・港湾利用の活発化など、観光需要が高まる時期を見据えた開業が一定数あったと考えられます。

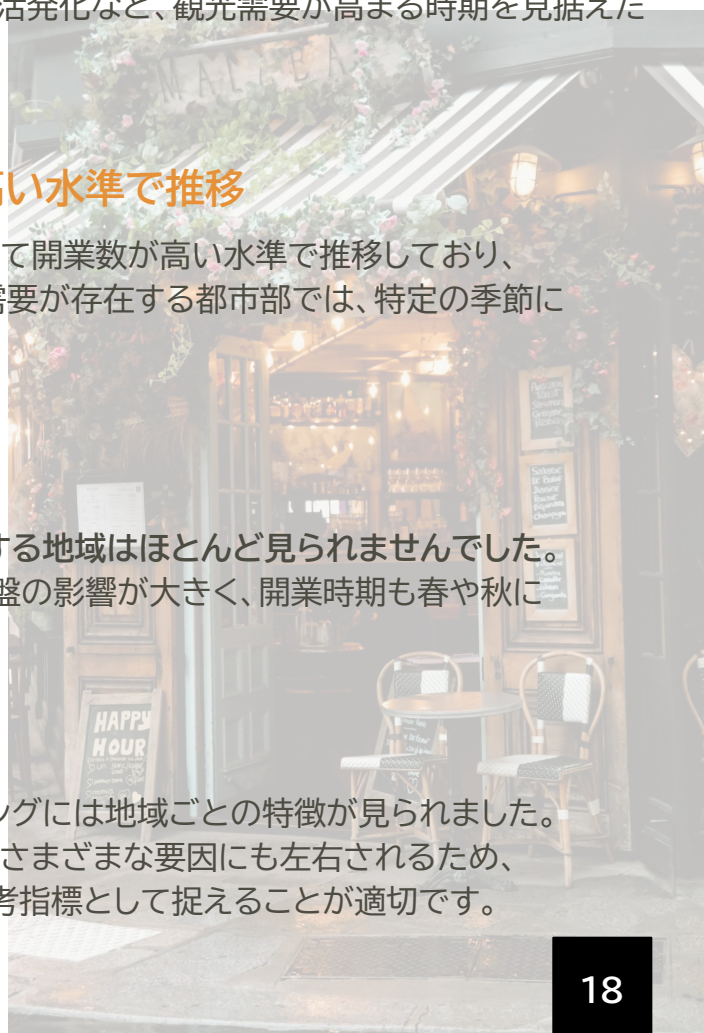
通年安定型 | 年間を通じて開業数が高い水準で推移

東京都は4月が最多となったものの、年間を通じて開業数が高い水準で推移しており、「通年安定型」の特徴がうかがえました。多様な需要が存在する都市部では、特定の季節に偏りにくいことが背景にあると考えられます。

夏のピークが顕著な地域は見られず

年間開業数上位の都道府県では、夏をピークとする地域はほとんど見られませんでした。都市部では季節需要よりも年間を通じた需要基盤の影響が大きく、開業時期も春や秋に集まりやすい可能性があります。

このように、開業数が多い地域でも、開業タイミングには地域ごとの特徴が見られました。ただし、開業時期は物件や資金調達、許認可などさまざまな要因にも左右されるため、ピーク月は地域の需要動向を読み解く一つの参考指標として捉えることが適切です。



全国飲食店開業レポート ver8 まとめ

市場は安定局面へ ― 問われる「開業戦略」

2025年の飲食店開業市場は、年間・第4四半期ともに前年と同程度の規模を維持し、大きな増減は見られませんでした。全国的には市場が安定局面に入った一方で、その内訳を見ると、地域やジャンル、開業時期によって異なる動きが数多く確認されました。

地域ごとに異なる開業動向とタイミング

都道府県別では、東京都や大阪府など大都市圏が引き続き高い開業数を維持する一方、北海道や茨城県、熊本県などでは前年を上回る伸びが見られました。また、年間を通じて開業ピーク月を比較すると、「春型」「秋型」「通年安定型」など地域ごとの特徴が表れ、開業タイミングにも違いがあることが確認されました。

ジャンルごとに異なる需要サイクル

ジャンル別では、飲み屋・居酒屋やカフェ・喫茶店など夏型の業態、一般レストランやバー、焼肉など年後半型の業態、ラーメンや各国料理のような二山型の業態など、それぞれ異なる需要サイクルを持つことが分かりました。飲食店の開業は一律の季節性ではなく、業態ごとの需要構造に合わせたタイミングで行われていることがうかがえます。

市場環境の変化が開業戦略にも影響

2025年は、インバウンド需要の回復、物価高、人手不足、記録的な猛暑など、多様な外部環境が重なった一年でした。そのような状況でも一定数の開業が維持されたことは、市場の底堅さを示す一方、今後は「開業件数」だけではなく、「どこで」「いつ」「どのような業態で」開業するかという戦略性が、これまで以上に重要になっていくと考えられます。



変化を捉えることが、新たな事業機会につながる

飲食業界を取り巻く環境は、コロナ禍からの回復を経て、新たな局面へ――

人口減少や人手不足、物価上昇といった課題は今後も続くと見込まれる一方で、インバウンド需要の拡大や観光振興、都市開発など、新たな市場機会も各地で生まれています。

今回の分析では、

地域によって開業が活発になる時期が異なること
ジャンルごとに需要サイクルが異なること

など、

全国集計だけでは見えにくい特徴が数多く確認されました。

こうした違いを理解することは、出店計画や商圈分析、競合調査など、さまざまな場面で有効な視点になると考えられます。

飲食店経営に求められるものは、時代とともに変化しています。しかし、その地域に暮らす人々や訪れる人々のニーズを丁寧に捉え、最適なタイミングで価値を提供するという本質は変わりません。

本レポートが、これから開業を目指す方、新たな出店戦略を検討する事業者、地域の飲食市場を分析する関係者の皆さまにとって、次の一步を考えるための参考資料となれば幸いです。今後も飲食店の開業動向を継続的に追うことで、市場の変化を捉え、業界の発展に役立つ情報を発信してまいります。

【データ・レポートに関するお問い合わせ】

株式会社Review(リビュー) 広報
担当: 五味川
E-mail: gomikawa@re-view.co.jp
<https://re-view.jp/>

Re:view